

一事業主側

名

東京建鉄株式會社三河島工場

事

業達集金具製造

資本

金百九十万円

企業系統

ナ

代表者

社長頭田國雄

労働者側

工場長海野繁蔵

候用労働者

三百二十名(男三百十八名女二名)

労働者側

年議參入人員三百十八人(男)

中勞働組人員

目下一人ナシ

處長方労働組合

関東金属産業労働組合

發生一時

昭和六年五月八日

一事業主側

一發生原因

本年五月工場異常協議会席上、於コ近ノ職工、大量解雇、已
ハナニニ至リハシテ深シシテ為メ全職工ハ五月六日實行委員
シ選出シ實務書類提出セルニ工場主ハ五月七日之ノ一誠ノニ
五月八日百三十名ノ解雇シ後度ニルカ夫レニ先チ全員罷
業ニ入ル

一要求事項並文端狀況

立月六日別記要求事項ニ提出セルカ工場主ハ五月七日須田社
長ヲ訪問シ態度ヲ決シ同日午後三時より職工以表シ工場内ニ
集メ會社ノ寫狀ヲ提出シ詫解ヲ求メ別記回答シ行ハリ

一經過

經業主側ハ立月八日、發表後ハ結束乱レ、ノ度アリトシ七
川敷剛金ヘ通シ處接シ述メガ勒止ニ成功シ剛金三河島
文部小松鈴太郎 同組今日暮里文部岩向製作等ヘ之ヲ指導